

<b>授業科目名</b>	医療安全管理学(2300238)		
<b>時間割名</b>	医療安全管理学(21210)		
<b>時間割担当</b>	宮崎京子		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	1 必修
<b>曜日・時限</b>	火・1~2		

### 授業の目標・概要

保健医療専門職者として、患者や利用者の安全を保障するための知識、態度を身につける。まず、安全の考え方と事故の予知・予防について理解する。特に今日の主要な安全理論である「ハザードリスク・モデル」について、リスク評価、リスク管理、リスク・コミュニケーションの観点から理解する。その上で、インシデントを含めた医療事故の概要とその予防について、実際の事例をもとに学習し、医療の安全を確保するための方策について考察する。また、医療における情報災害の概要についても学習する。

### 学習の到達目標

1. 医療安全の概念が定着した背景を理解する。
2. 人がミスを犯してしまう構造を理解する。
3. 事例を通じて、臨床現場に潜むリスク、起こりうる背景を理解し日常業務上の注意点を学ぶ。
4. チーム医療からみる医療事故とその対策を学ぶ。
5. 医療を確実に実施していく上での必要とされる知識・技能・態度・習慣について学ぶ。

### 授業方法・形式

講義形式とグループ演習による授業を実施する。

### 授業計画

- 第 1 回 講義 「安全に対する考え方の経緯と過去の事故事例からの学び」
- 第 2 回 講義 「患者安全におけるヒューマンファクターズの重要性」
- 第 3 回 講義・グループ演習 危険予知訓練の実施
- 第 4 回 講義・グループ演習 転倒予防について考える
- 第 5 回 講義・グループ演習 「チームの鎖」 チーム医療とコミュニケーション (Team STEPPS)
- 第 6 回 講義・グループ演習 「医療事故事例」 EARRTHの活動紹介
- 第 7 回 講義・グループ演習・演習 多重課題シミュレーション
- 第 8 回 講義 まとめ 「医療事故防止対策」 「質の高い医療を提供するために必要なこと」

### 成績評価の基準

出席 40% 授業態度 20% (レポート)試験 40% を総合して評価する。

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

### 履修上のアドバイス及び留意点

### 教材・教科書

パワーポイント資料を授業時に配布

### 参考書

特になし